

# 漂着ゴミについて考える

## 私たちの海を汚すのは何？

海は「生命のゆりかご」であると同時に、漁業、海運、レジャーなど、私たちの生活に欠かせない場となっています。いま、海岸に流れ着いた「ゴミ」により、私たちの海やそこに暮らす生き物たちに様々な影響が及んでいます。かけがえのない海を守るために、私たちは何をすればいいのでしょうか？

### 漂着「ゴミ」とは？

海に流れ込んだプラスチック等のゴミは、海岸に流れ着いたり、海底に堆積しています。これらはなかなか分解されずたまっていく一方、波や紫外線により劣化して細かい破片に変わっていきます。多くの場合、ゴミの発生する場所と流れ着く場所が異なっていることが問題となっています。また、このようなゴミの回収・処理には大変な手間とお金がかかります。

### 漂着「ゴミ」による影響

- ・ 漂着ゴミにより、次のような影響があると考えられます。
- ① 景観やレジャーへの影響
- ・ 美しい景観を損なう。
- ・ 海水浴を楽しむのに邪魔になる。
- ・ 観光への影響が懸念される。

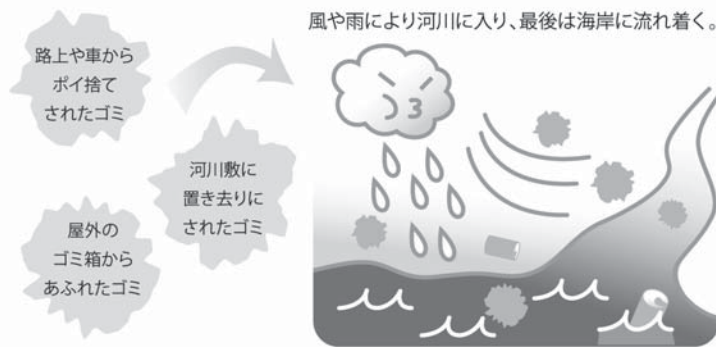
- ① 漁業や海運への影響
- ・ 漂流しているゴミや海底に堆積したゴミが、漁網に絡んだり、漁獲物に混入する。
- ・ 漂流しているゴミが船の安全な航行を妨げる。
- ① 安全な暮らしへの影響
- ・ 医療系の廃棄物やガラス破片などにより、人に被害が及ぶ恐れがある。
- ① 海洋生物への影響
- ・ 海洋生物の体に絡まる。
- ・ 海鳥などが誤って飲み込む。

### 海を汚していたのは、私たちの「ゴミ」だった

環境省の調査で海外から流れ着くゴミが多く占める海岸もありますが、積丹町を含め、ほとんどの海岸に見られるゴミは、私たちの生活から出たゴミが、河川を通じて海に到達していることが分かりました。

## ゴミを発生させないこと、発生したゴミはきちんと処分することが、漂着ゴミを減らすことにつながります

どうして生活ゴミが海までたどり着くのでしょうか。例えば以下のような経路が考えられます。



- 外出中に発生したゴミを家に持ち帰って処分しましょう。
- 町では観光シーズンに合わせ、一般的な海岸の清掃活動を実施しています。
- リデュース、リユース、リサイクルの3R活動により、ゴミそのものの発生を減らしましょう。

### ■ 3R活動ってなに？ ■

- ◆ 使い終わった後に出るゴミの量をなるべく少なくすることを「リデュース」
- ◆ 一度使ったものをゴミにしないで何度も使うようにすることを「リユース」
- ◆ 使い終わった物をもう一度資源に戻して製品を作ることを「リサイクル」

## ●あなたにもできること●

### 1. 外で出たゴミは家に持ち帰って処分しましょう。

#### 屋外でこんな経験ありませんか？

- ・ ゴミ箱がいっぱいだったので、その脇にゴミを置いた。
- ・ レジ袋に入れたまま、分別しないでまとめて捨てた。
- ・ 側溝のフタの隙間から、ゴミを「処分」した。

### 2. 自分の生活から出るゴミを減らしましょう。

- ・ 使い捨てをなくす。(例：容器は再使用できるものを選ぶ。)
- ・ 包装はできるだけ少ないものを選ぶ。(例：「詰め替え用」や「ばら売り」)
- ・ マイバックを持ち歩いてみる。

できることから少しずつ始めましょう。一人一人のささやかな取り組みが、きれいな海を取り戻します。

※平成21年7月15日「海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律」公布

## ■ 積丹町の取組み ■ 神威岬の海岸清掃が実現



神威岬海岸の漂着ゴミについて

では、旧遊歩道の通行止めや回収等に係る経費の確保が困難なため回収作業ができず、観光客から「美しいリタンク、タイヤ、漁網等のほ

景観が損なわれている」などの声が寄せられていました。今年度において、国の緊急雇用対策交付金を活用し、神威岬の断崖下の漂着ゴミの回収作業が可能となり、漁船やプレジャーボートを利用して8月10日、神威岬の海岸清掃が実現町のダンブ3台分(約1.5トン)回収・処理が行われました。ゴミの多くは、ペットボトル、ポリタンク、タイヤ、漁網等のほ



か冷蔵庫やテレビなどの電化製品も見られました。来年度においても同交付金が

配分されることから神威岬沿岸に限らず状況に応じ清掃箇所や実施時期を検討したいと考えています。